

平成28年度第1回 流山市環境審議会 議事要旨

日 時： 平成28年6月27日（月）午後10時～12時

場 所： 市役所第2庁舎3階306会議室

出席委員：

新保國弘会長、赤坂郁美副会長、金森有子委員、朽津和幸委員、
吉永明弘委員、村越弘行委員、和田まつゑ委員、佐藤明委員、
秋元五郎委員、中大路早智江委員、中村貴代美委員、和田登志子委員
事務局（環境政策・放射能対策課）：

古川環境部長、染谷環環境部次長兼環境政策・放射能対策課長
糸井クリーンセンター所長、遠藤環境政策係長、川上主事
傍聴者：0名

議 題：

- 1 審議会スケジュールについて
- 2 流山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- 3 流山市第Ⅲ期生活排水対策推進計画について
- 4 その他

資 料：

- 資料1 : 審議会スケジュール（予定）
資料2-1 : 流山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案
資料2-2 : 平成27年度第6回審議会及び平成28年度第1回・
第2回改定部会意見まとめ
資料3 : 流山市第Ⅲ期生活排水対策推進計画事務局案

発言者	要旨
(議題1) 審議会スケジュール(予定) (議題2) 流山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について	
～事務局よりスケジュール及び地球温暖化対策実行計画素案について説明～ ～佐藤部会長より部会の審議経過について説明～	
佐藤部会長	市長から指摘があったという「にこにこプラン」という名称については、私自身は特段こだわる必要は無いと考える。
赤坂副会長	国際動向や流山の人口などコラム的に示したという部分に必要な情報がありこれを目次に示すと良い。煩雑になるという理由であれば、目次の下部にコラムだけ抽出した目次を作成すると良い。
事務局	目次は、あまり細かく示さずに2階層までの記載事項を大枠で示している。コラムを抽出して記載することは検討する。
赤坂副会長	4ページの国際動向・日本の動向を示した年表には違和感がある。国際的な背景があるのは理解できるが、地域の施策を示した計画なのだから流山市の政策情報も入れるべき。
和田登志子 委員	サイズの小さくなる可能性はあるが、流山の施策も入れると良い。
事務局	流山の計画等を併記するようにする。
中大路委員	流山の施策は、フォントサイズの調整などで入れられる。また先ほどの市長指摘の「にこにこ」の名称変更については3ページの文章にも影響を与えるので、3～4ページは再度精査して欲しい。
吉永委員	にこにこプランの名称を使わないことについては目標値も修正されていることから賛成する。4ページの年表は分かりやすいので生かすと良い。環境基本計画の際には巻末に見開きで記載していて見やすかった。
和田登志子	冊子にしないという話があったが、ホームページでの関

委員	覧を中心に考えているのであればサイズについては問題にならないので、先ほどの流山の施策は入れ込めると思う。
中大路委員	33ページの「市民の皆さんの取り組み」はよくまとまっているので広報等でも周知を行うと良い。
事務局	広報やパンフレット等周知方法を検討したい。
和田登志子委員	ページ表記の白抜き明朝体は見にくいので、ゴシックにするか通常の表記にするとよい。
事務局	修正する。
新保会長	章目次はページ数も書いてなく、あまり意味がないのでは。コンパクトにまとめるというのであれば、これはカットして別に必要な情報を入れてはどうか。
事務局	ページの詰まりが起こるが検討する。
新保会長	気温データは重要なので記載したほうが良い。数字は重要な要素となる。CO2濃度は国が数地点で測定しているようだが、これを市町村でできないのであればこの理由などを記載できないものか。
佐藤部会長	CO2濃度測定の話は部会でも特別委員から出たが、どこで測るか、いつ測るかなどの条件で大きく結果が変わってしまうという話が出た。
新保会長	時間が迫っているので、この案件について意見をお持ちの方は、メール等で後日提出するようお願いする。
(議題3) 流山市第Ⅲ期生活排水対策推進計画について	
～流山市第Ⅲ期生活排水対策推進計画事務局案について説明～	
朽津委員	利根運河について、国の導水改良工事が行われたとあり、水質基準の設定や水質改善の方向性など分かりづらいところが多々あるが今後水質は改善されていく見込みか。
事務局	平成16年度と平成26年度の水質を比較して改善に向かっているという国の見解がある。また、環境基準が3となっていることについては現段階では分からないが、今後利根運河協議会という3市の下水道施策などが進むことが見込まれ、利根運河の水質についても良い方向に向か

	<p>っていくと見込んでいる。先に新保会長に提示いただいた資料からも野田市の流入が多いことが見られ流山だけではなく3市の施策が必要と考えている。</p>
朽津委員	<p>このグラフを見て改善に向かっていると判断するのは難しい。注釈にある平成27年度の通水開始によりどの程度の改善があるのか。</p>
事務局	<p>市が行う本年度2回の測定では改善が見られるが、この6月に取水制限もあり通水は止まっている。</p>
新保会長	<p>河川事務所では年12回測定と聞いているが、流山市の年4回の測定での75%値の信頼性は問題ないのか確認してほしい。また坂川や神明堀などBODが大きい値も示すグラフは二重波線などで区切り、BOD10以下の数字が読めるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>修正する。</p>
中大路委員	<p>自宅がすぐ運河の裏なので毎日運河を見ているがきれいになっているとは感じられない。27年度より環境用導水を行っているとはあるがこれはどのように入っているのか。</p>
新保会長	<p>今は渇水期故入っていないかもしれない。利根川の下流域の水利権があり、そちらが優先となるため。運用が始まったばかりなので、まだ評価できないのではないかと。本当はもう少し多く導水したいのだろうが、野田の田んぼに水が上がってしまう恐れがあるため、利根運河協議会の目標導水量はこの数値となっている。</p>
和田登志子委員	<p>河川の類型に関してこのページに分け方と基準値を書いたほうが良い。「-」は「Eに準ずる」のような記載にしたほうが良い。</p>
中大路委員	<p>75%値などがよく分からないので、もうちょっと水質が悪いか良いかが分かりやすいように表現して欲しい。</p>
佐藤部会長	<p>22ページにある内容を7ページなどに移動して記載したほうがよい。「-」は「(E)」の表記にしたらいかがか。また、75%値については、正規分布と積算値をとっ</p>

	て75%がこれだからということと言葉で説明することも必要かと考える。
新保会長	年4回では正規分布はとれないのでは。とはいえ、正規分布である必要はないかもしれない。
佐藤部会長	6ページの「河川の自浄作用の積極的活用」の「植物の回収が必要」だから「×」と読めばいいのか。○×の位置が何を示しているのか分からない。また運河の話で通水により水質を改善するという話もあるが、本来はこういった自浄作用を促す取組みこそが重要と考えるがいかがか。
新保会長	運河ではマコモが自生している。浄化能力も少しはあるだろうし魚が寄ってきて産卵することにもつながる。河川の植物については記載を考慮したほうが良い。どんな植物が生育しているか調べることも大事と考える。
朽津委員	積極的に鋭意検討しているという姿勢を見せたほうが良い。
金森委員	13ページからこの新計画のメインが始まるはずなのだが構成としてここが全く目立っていないため、この計画で何をしたいのかが読み取れない。また、サンプル数が少ないという話だが、十分に数値が下がっているものはともかく、ギリギリのものなどはこれをもって目標を達成しているとは言えないのではないか。また、既に達成している地点での維持という意味でも「測定を継続する」ことを明記することは必要。
新保会長	国のマニュアルでは毎月第○水曜日など測定日を決めていると側聞している。河川事務所の年間12回の測定で、バラツキ(偏差)と正規分布が見られるかを知りたい。意見であったようにこの計画で何をしたいのかが見えてこないのは私も同感。各河川の流域図は押さえておくべき。坂川では松戸市と柏市、利根運河は野田市と柏市など、市単独ではできないことも多く、下水道計画があるところはマークするなどしないと将来傾向が見えない。特に利根運河の場合は野田市が約85%の流域を持っており、全部

	の河川について必要で無いかもしれないが、利根運河と坂川は必要と考える。
和田登志子 委員	6 ページ。チェックシステムが無いというのは問題があり検討すべきと考えていると思うが、これを△で表現しているから消極的に見える。継続するのは当然であるので、検討項目を特に出したほうが良い。植物の×についても重要と考えるので積極的に書いて欲しい。
新保会長	4 ページと 6 ページの表はここだけ字が小さく、読まなくて良いとっているように消極的に感じるので表現を改めるように。1 ページに、江戸川流域と手賀沼流域とあるが、流山市河川課の流域図では、坂川流域も表記されている。柏市の流域図では「利根運河流域」という表記も用いられている。他市の流域図も確認の上、河川課と調整が必要。
(議題 4) その他	
事務局	<p>区域施策編については、意見がある場合 1 週間後の 7 月 4 日 (月) までに意見を寄せて欲しい。</p> <p>生活排水計画については 8 月の審議会前に正式な審議会とは別に勉強会のようなもので参加できる方に参加いただく形をとるか、メールで意見をいただく形はいかがか。</p>
新保会長	メールでは委員間の意見交換ができないので、7 月末あたりに勉強会を開くのがよいと考える。
<p>～勉強会については 7 月 28 日 (木) 10 時とした～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の改選について 7 月 1 日号の広報で公募を行うことの報告。 ・市制施行 50 周年記念「健康都市大会」開催の案内。 ・次回審議会について、日程及び 2 計画を最終案として示したい旨の依頼。 <p>～ 8 月 22 日 (月) 10 時とした～</p>	